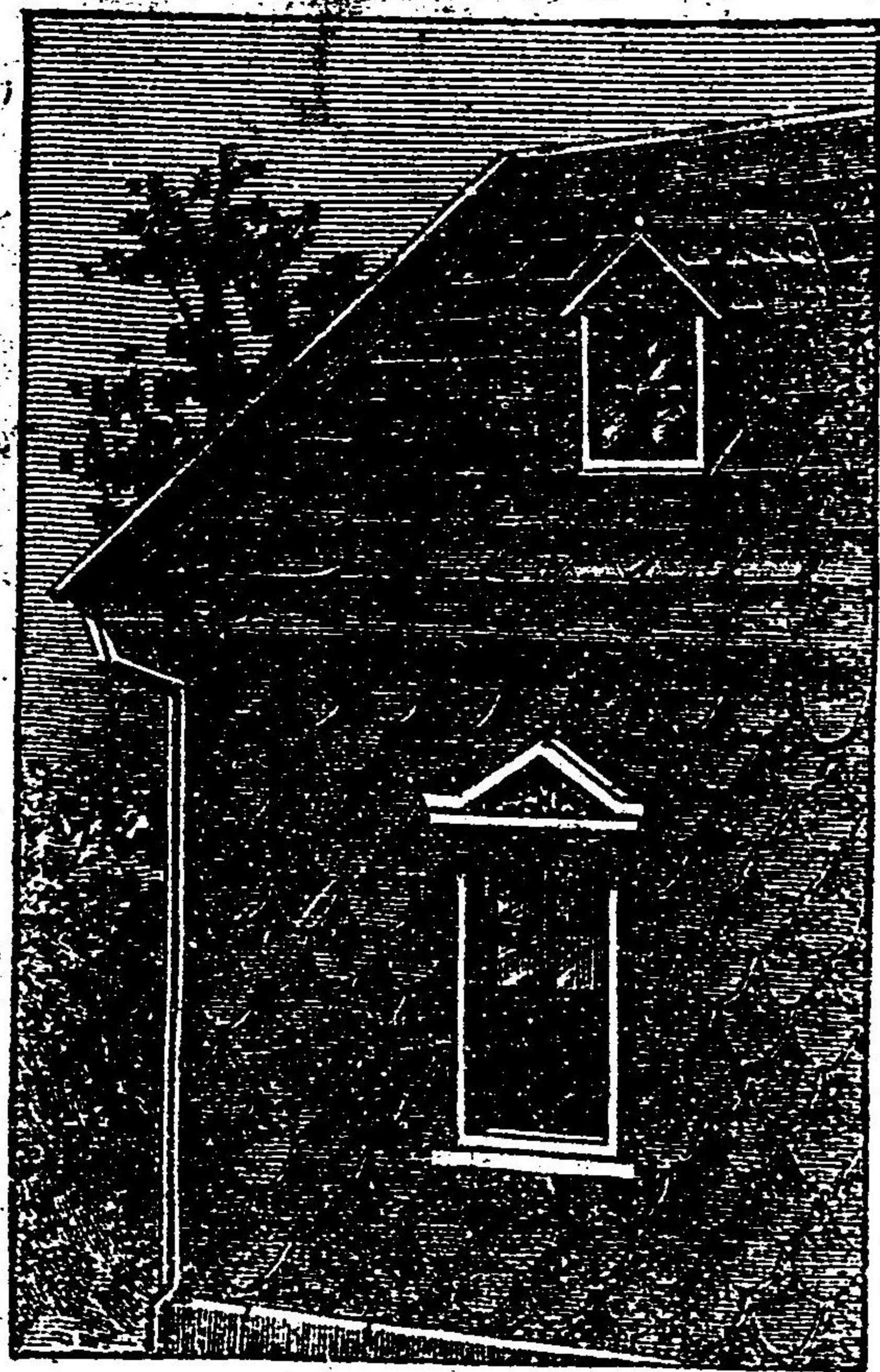


石材

- (1) 花崗岩 || 加工し難いが、質堅牢で美しい。建築石材として最良である。
- (2) 安山岩 || 良質の建築石材である。
- (3) 砂岩 || 質の堅いものは良き建築石材。
- (4) 凝灰岩 || 概ね軟で、良質の建築石材ではないが産額多く加工し易い。
- (5) 粘板岩 || 此の岩石中割ぎて板とされるものは壁・床・屋根に用ひられる。
- (6) 石灰岩 || 大理石は色澤美しく屋内の裝飾石材として用ひられる。



粘板岩にて葺きたる家屋

- (三) 附題。 (1) 花崗岩は主に石英・長石・雲母から成つてゐる。
- (四) 問題。 (1) 花崗岩の建築材として良き理を問ふ。

二十九 鑛石

(一) 一字解。

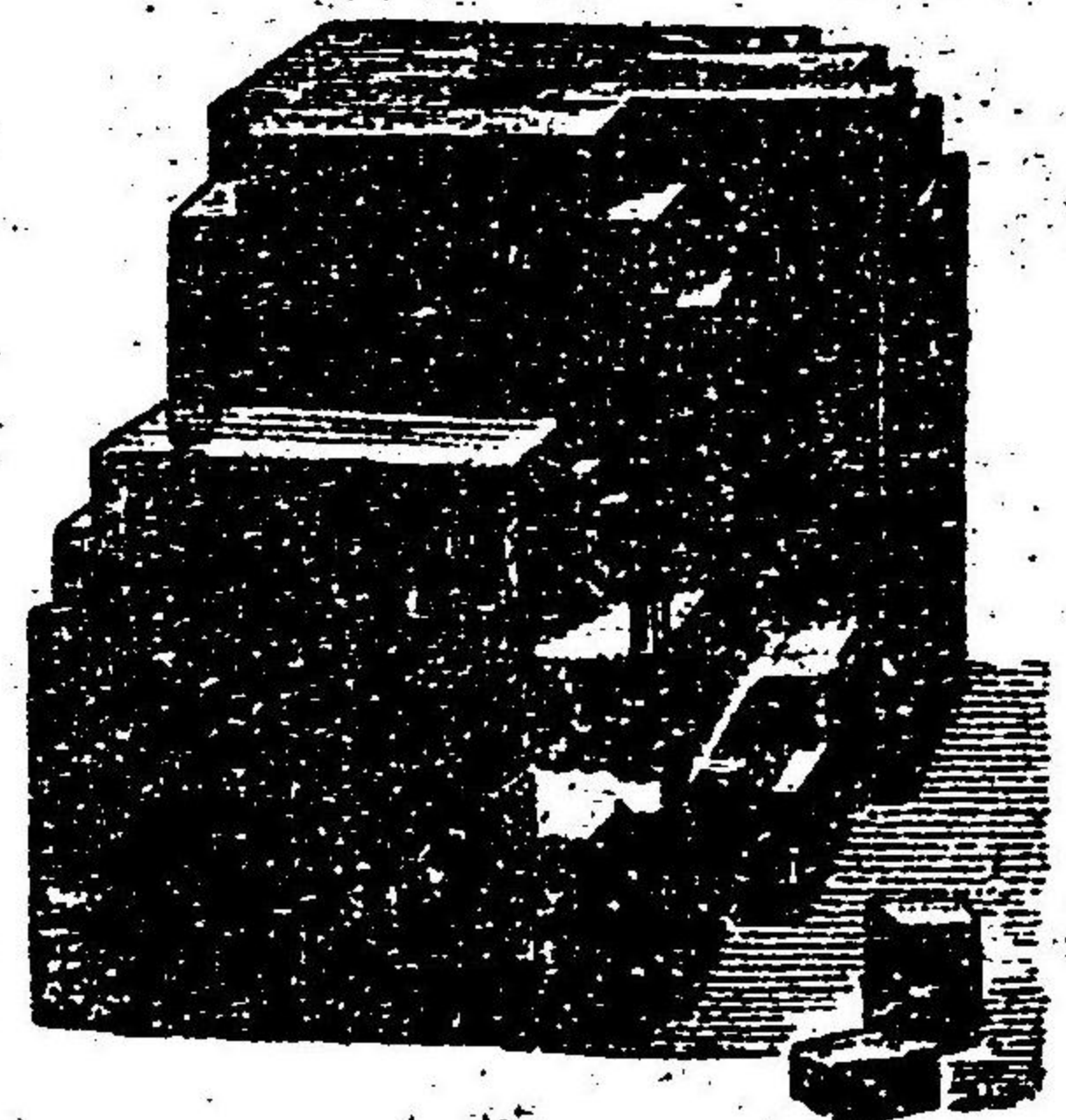
磁鐵鑛 じてつくわう 褐鐵鑛 くわつてつくわう 斑銅鑛 はんどうくわう  
 方鉛鑛 ほうえんくわう 閃亞鉛鑛 せんあえんくわう 辰砂 しんさ  
 鑄型精密 いがかたせいみつ

(二) 表解。

- (1) 鐵の鑛石 || 磁鐵鑛・赤鐵鑛(鐵と酸素)褐鐵鑛(赤鐵鑛に水)。
- (2) 銅の鑛石 || 黃銅鑛・自然銅・斑銅鑛。



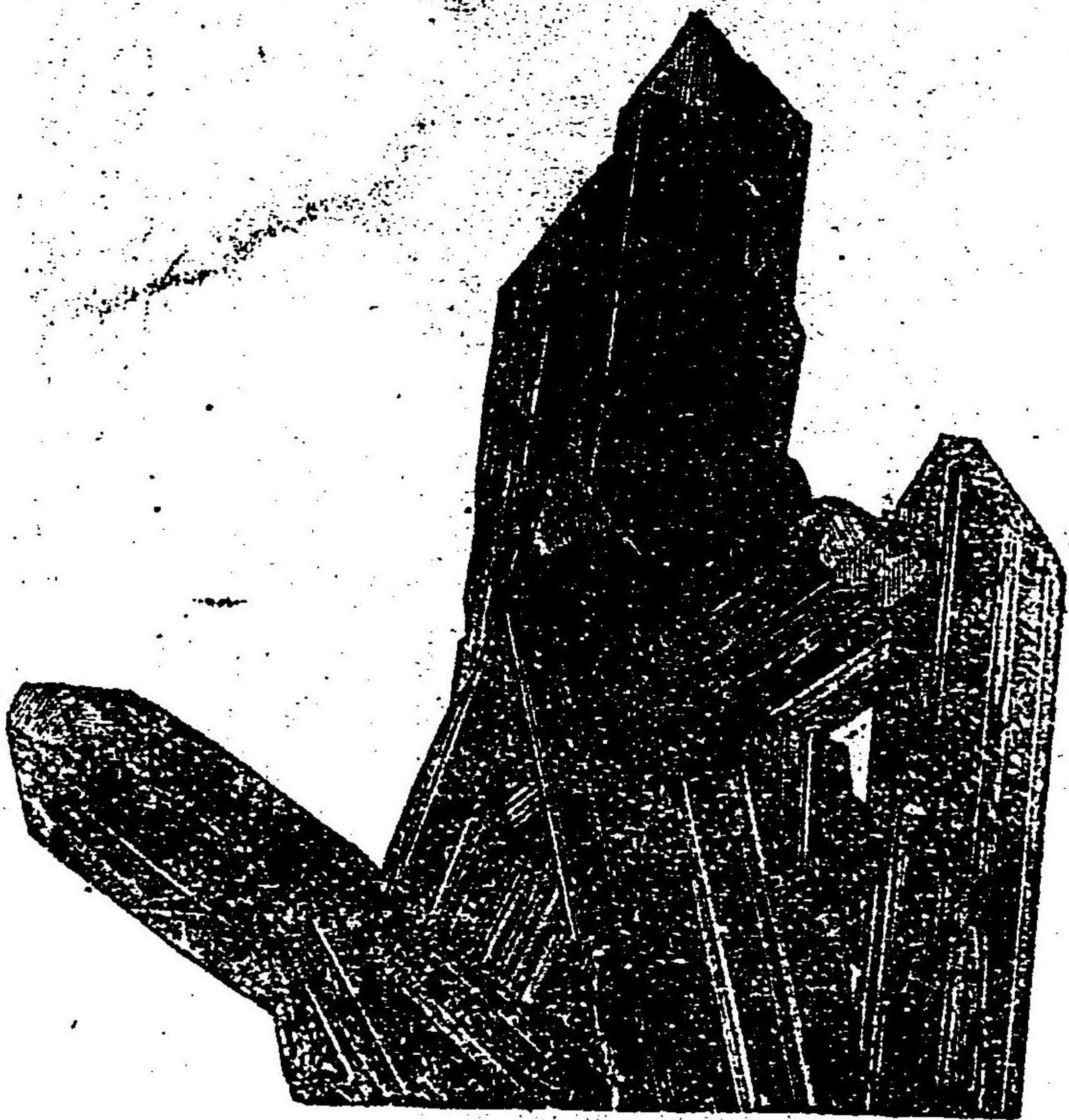
磁鐵鑛



方鉛鑛

鑛石

- (3) 鉛の鑛石 || 方鉛鑛は鉛と硫黄から成り、多少の銀を含む。
- (4) 閃亜鉛鑛 || 亜鉛と硫黄から成り、亜鉛を取るに用ひらる。
- (5) 錫石 || 錫と酸素から成り、錫を製する鑛石である。
- (6) 辰砂 || 水銀と硫黄から成り、之より水銀を製す。
- (7) 輝安鑛 || アンチモニーと硫黄から成る。アンチモニーは白色の金屬で、之を鉛・錫に加へて造れる合金は鑄型



輝安鑛

(三) 附題

を精密に寫す性がある、活字は此の合金で作る。  
赤鐵鑛と磁鐵鑛と區別し難いときは、磁石を引くか否かを見よ。

(1) 鐵及び銅の鑛石を擧げよ。  
(2) アンチモニーの用途如何。

三十 銅山

(一) 字  
(二) 表

- 解。採掘さいくつ 脈狀みやくじやう 層狀そうじやう 塊狀くわいじやう 鑛床くわうしやう 沈澱ちんぜん 多孔たこう 坑道かうだう 鑿たぎ
- 採掘さいくつ 碎さい 選別せんべつ 熔鑛爐とくくわう 精製せいせい

銅山

- (1) 銅の鑛石 || 種々の鑛物と共に脈狀・層狀・塊狀の鑛床をなしてゐる。
- (2) 鑛床の生成 || 地中の深い所の高温の水が、地面の方へ進んで來るとき、其の含める物質の沈澱して生じたものである。
- (3) 鑛床の上部 || 地上に現るゝ部分は空氣・水の爲に概ね赤褐色である。
- (4) 銅の採掘 || 銅山には坑道及び堅孔を穿ち、鑛床に沿うて採掘して坑外に運び出す。坑内には排水・通風の仕掛がある。

(5) 銅の精製 我が國の銅は殆ど黃銅鑛から製する。採掘した鑛石を碎いて選別け雜り物の少いのを集めて、硫黄の一部を除いて熔鑛爐へ入れ、て熔し、銅分の多い部分を取り更に熱して不純物を除けば殆ど純銅を得、之を更に精製するには電氣分解による。

(三) 附。 (1) 足尾銅山は脈狀。別子銅山は層狀、小坂鑛山は塊狀をなしてゐる。

(四) 問題。 (1) 銅の鑛床の種類を問ふ。 (2) 銅の精製の順序如何。

### 三十一 炭坑

(一) 字 解。 水底<sup>すゐてい</sup>、覆<sup>おほ</sup>はれ、炭化<sup>たんか</sup>、無煙炭<sup>むえんたん</sup>、泥炭<sup>でいたん</sup>、炭層<sup>たんそう</sup>。

(1) 石炭の生成 太古の植物が水底に積り土砂に覆はれて炭化したもので、水底岩の間に層をなして存在してゐる。

(2) 石炭の種類 無煙炭は最もよく炭化したもので九割以上の炭素を含み、次は黒色、其の次は褐色の石炭で、泥炭は沼池で植物の少しく炭化

したものである。

(3) 炭坑 數多の坑道と堅坑を穿ち、坑内に排水通風の仕掛がある。

(三) 附。 (1) コークスは石炭を蒸焼にしたもので九割以上の炭素を含む。

(2) 我が國の炭坑の大なるものは炭層の厚十尺以上、長さ數里に亘れるものがある。

(四) 問題。 (1) 石炭は如何にして生ずるか。 (2) 石炭の種類を問ふ。

### 三十二 寶石

(一) 字 解。 硬<sup>かた</sup>、裝飾品<sup>さうじやくひん</sup>、透明<sup>とうめい</sup>、磨<sup>ひ</sup>き、屈折<sup>くつせつ</sup>、反射<sup>はんし</sup>、輝<sup>か</sup>く。

(1) 寶石の種類 鑛物中質硬く色澤美しく、産出の少いものは寶石といつて裝飾品として貴ばれる。金剛石・ルビー・サファイヤ・トパーズ等。

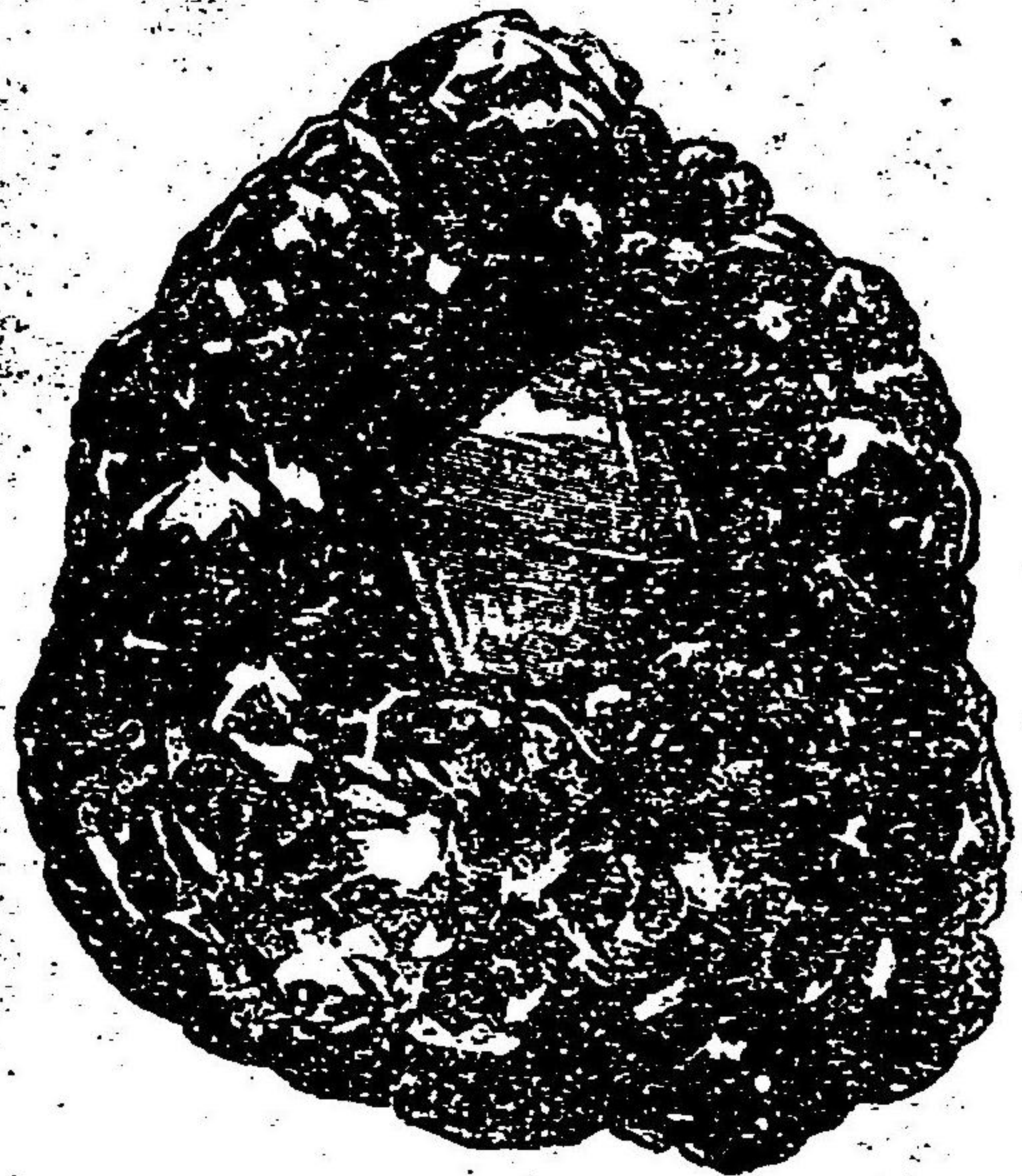
(2) 硬さ 金剛石最も硬く、ルビー・サファイヤ之に次ぐ。

(3) 色 寶石は概ね透明である。金剛石とトパーズには無色のものと有色

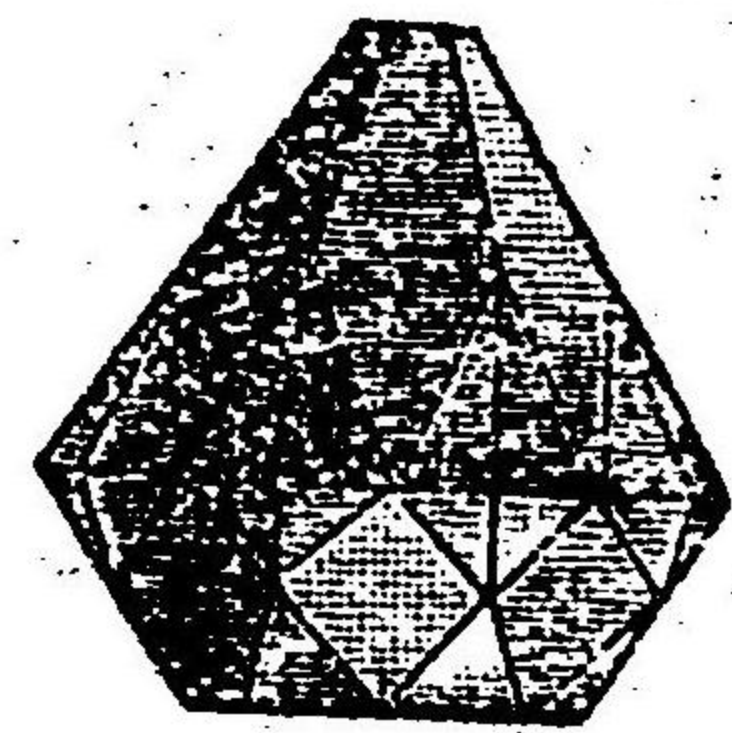
寶石

のものとなり、ルビ  
イアは青色である。

(4) 光の屈折と反射  
石は之を切り磨いて  
多くの平面で圍まれ  
た形とする時は光を  
屈折したり反射した  
りして美しく輝く。



晶結の石剛金



石剛金るたき磨

(三) 問題。寶石の貴はるゝ故如何。

(2) 寶石の名と色とを併せ述べよ。

### 三十三 ガラス

普通 珪瑯 蔽ふ

(一) 一字解。  
(二) 表解。

### ガラス

- (1) 製法 石英・石灰石・炭酸ソーダを混じ強く熱すると出来る。
  - (2) 種類 右の如く製したソーダガラスの外にカリガラス・鉛ガラス。
  - (3) ガラス器 ガラスを鑄型に入れるか或は吹いて造る。
  - (4) 色ガラス 通常種々の酸化金属を加へて造る。
  - (5) 珪瑯 ガラスの一種。七寶は種々の色の珪瑯で造り裝飾に用ふ。
- (一) ソーダガラスは稍、綠色、カリガラスは殆ど無色でよく熱に耐ふ。
- (四) 問題。(1) ガラスの製法と種類を問ふ。(2) ガラス器の製造法如何。

### 三十四 陶磁器

粉末 捏ね 素焼 釉 素地 描き 煉瓦

- (1) 製法 陶土・長石・石英の粉を水で捏ね、之を種々の形にして乾かし、て焼いて素焼とし、之に釉を施せば出来る。
- (2) 區別 磁器は素地白色で稍、光を通し、陶器は素地が白色か又は種

理科 第一學年後學期

々の色を帯びて光を通さない。

(3) 繪 $\parallel$ 下繪は素焼の時に描き、上繪は釉を施した後描きて焼つける。

(4) 煉瓦と瓦 $\parallel$ 煉瓦は粘土に砂を混ぜ、瓦は粘土を焼いて造る。

(三) 問 題 (1) 素地をよく乾かして後に焼かないところはれる。

(四) 問 題 (1) 瀬戸焼・有田焼は磁器で高温で焼いたもの、粟田焼・薩摩焼は陶器である。

(2) 陶磁器の製造順序を問ふ。(2) 陶器と磁器との區別如何。

### 三十五 力

(一) 字 解。

静止せる せいじせる マツカニト 働か はたら 速 すみ イハヤ

(1) 物體の運動 $\parallel$ 静止せる物體は、之に働く力の方向に運動を起す。

(2) 運動の (1) 同じ物體に力が働く時は、力の強い程運動は速である。

(三) 問 題 (1) 静止せる物體に力が働く時は、物體の重さの小なる程運動速し。

### 三十六 慣性

(一) 字 解。

慣性 かんせい 続けん 抵抗 ていこう あり

慣性 $\parallel$ 静止せる物體は静止を続け、之を運動せしめんとすれば抵抗する。又

運動せる物體は運動を続けんとする。この静止或は運動を続けようとする

性質を慣性といふ。

(三) 附 題 (1) 人力車・電車等に乗れる時、車が急に進んだり止つたりすれば後又は

前に倒れんとするのは慣性に反するからである。

(四) 問 題 (1) 慣性とは如何なるものか例を擧げて説明せよ。

### 三十七 運動の變化

(一) 字 解。

變化 へんか 絶えず たえず 曲線狀 まがじまう 反対 はんたい 減ず げんず ス

(二) 表 解。

理科第一學年後學期

運動の變化

- (1) 力の方向と物體の運動  $\parallel$  運動せる物體に其の運動の方向と異なる力が働くときは物體は運動をその中間の方向に轉ず、かかる力が絶えず働くときは、物體は曲線狀に運動する。
- (2) 運動の方向と速さ  $\parallel$  物體運動の方向と同じ方向に力が働く時は、運動の速さを増し、反對に力が働くときは運動の速さを減ず。
- (三) 附題。 (1) 物を水平に投ずれば重力も共に働くから其の運動は曲線狀になる。
- (四) 問題。 (1) 運動の變化とは如何なることか。

三十八 二力の組合

- (一) 字解。 静止せる マツカサ マツカサ 等し イソク 反對 ハンタイ 釣合 ツグヒ
- (二) 表解。
- 二力の組合 (1) 二力の方向異なる時  $\parallel$  物體は中間の方向に運動する。
- (2) 二力の方向等しき時  $\parallel$  二力の和に等しき強さの力が働くときと、同様の運動をする。

(3) 二力の方向反對なる時  $\parallel$  二力の差に等しい強さの力が大なる力の方向に働く時と同様の運動をなし、二力相等しければ、釣合ひて物體は運動しない。

- (三) 問題。 (1) 一物に働く二力が方向を異にするときは如何。
- (2) 若し二力反對の方向に働くときは如何。

三十九 働と反働

- (一) 字解。 働 ハムカ 反働 ハンカ 伴 トモ
- (二) 表解。

働と反働  $\parallel$  力の働く時には、常に之と強さが等しくて反對の方向に働く力が伴ふものである。其の一を働といひ、他を反働といふ。

- (三) 附題。 (1) 大砲を發射するとき、砲彈が發する時に、砲車も後へ下る。
- (2) 舟に乗つて、他の舟を衝き動かせば自分の舟も反對の方におし動かされる。
- (四) 問題。 (1) 反働とは如何なるものか、例を擧げて説明せよ。

### 四十 槌子

(一) 字解。

槌子 てこ 支點 してん 距離 きり 積 せき 棒 ぼう

槌子

(1) 槌子 || 支點が二力の働く二點の中間にあるものと、二點の外にあるものとある。  
(2) 釣合 || 何れの槌子でも、之を働く二力は棒を互に反對に廻さんとするもので、各力と其の働く點より支點までの距離との積が互に等しければ釣合ふ。

(三) 附。

(1) 槌子を應用したるものには釘抜・日本鉄・秣切等澤山ある。

(四) 問題。 (1) 槌子の種類を問ふ。 (2) 槌子に働く二力は如何なる時釣合ふか。

(二) 字解。

輪軸 りんじく 廻轉 くわいてん 固定 こてい 半徑 はんけい 應用 おうよう

### 四十一 輪軸

(二) 表解。

(1) 輪軸は廻轉し得る軸に輪を固定し、輪と軸とに之を反對に廻さんとする力を働かしむるものがある。

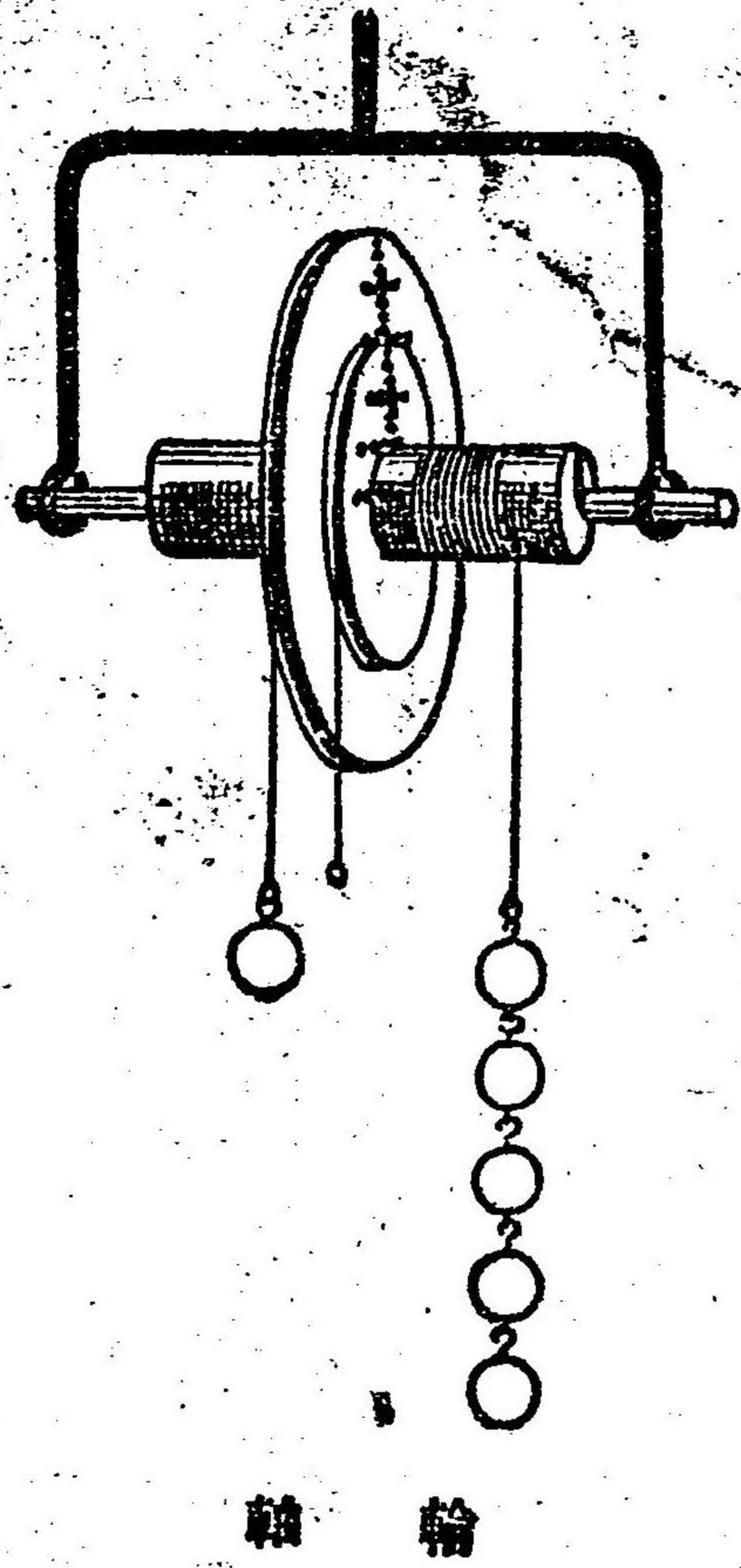
輪軸

(2) 釣合 || 輪軸に働く二力は、輪に働く力と輪の半徑との積が軸に働く力と軸の半徑との積に等しいとき互に釣合ふ。

(3) 車地 || 輪軸を應用した器械で、重い物を引き動かすときに用ひる。

(三) 附。 (1) 輪軸を用ふれば小さい力で重い物を引上げることが出来るけれども力の働く點の動く距離は重い物の動く距離より大きい。

(四) 問題。 (1) 輪軸とは如何なるものか。 (2) 輪軸の釣合如何。



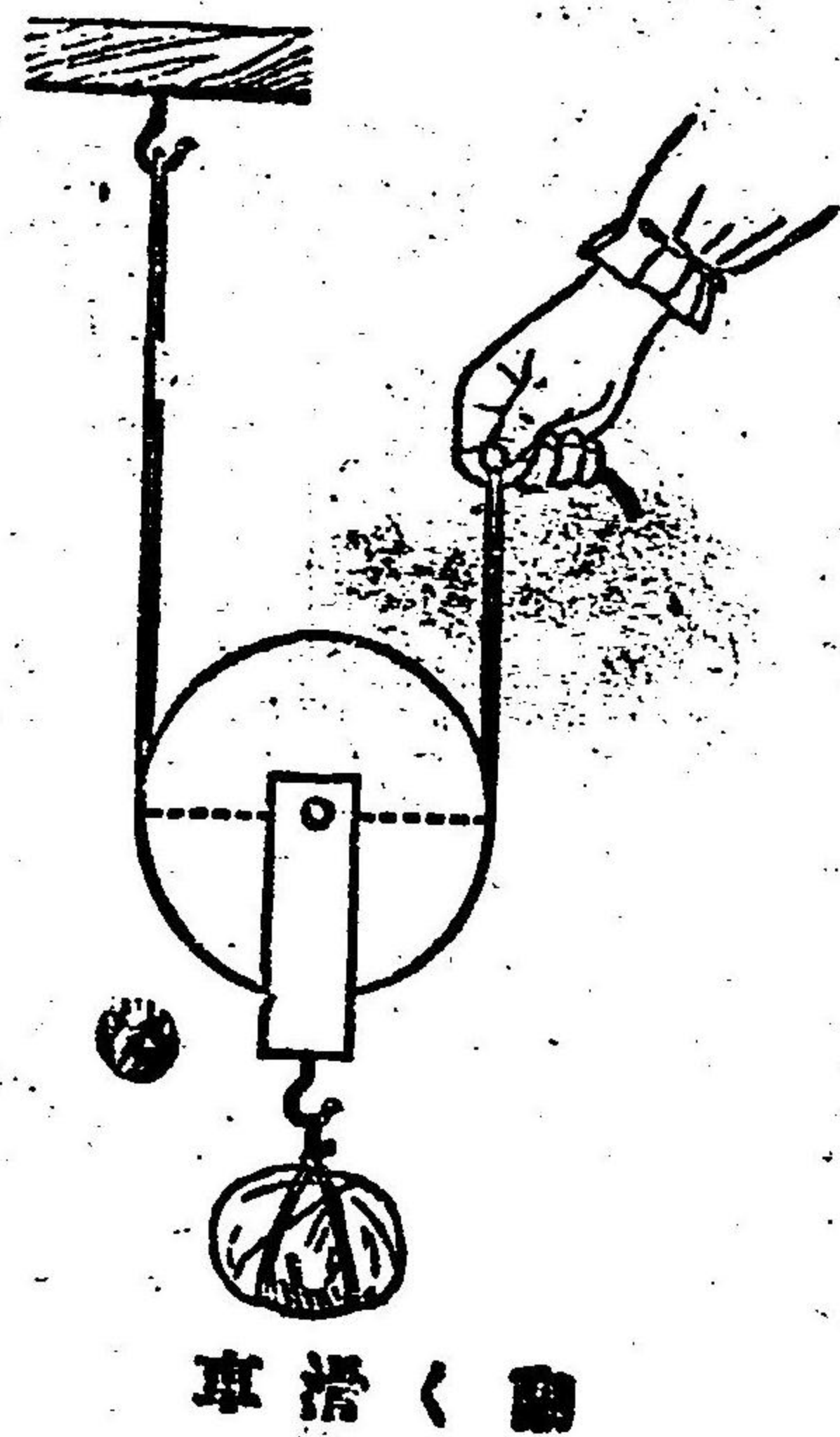
### 四十二 滑車

(一) 字 解。 滑車かつしや 纏まとへるマキツイ テキツイ

(1) 滑車は其の輪に纏へる一筋の繩に力を働かして廻轉させる車である。

(2) 用途 || 或方向に働く力を他の方向に働かせ、又は小さい力で重い物を動かす爲に用ひられる。

(三) 問題。 (1) 滑車は如何なるときに用ひらるゝか。



(一) 字 解。

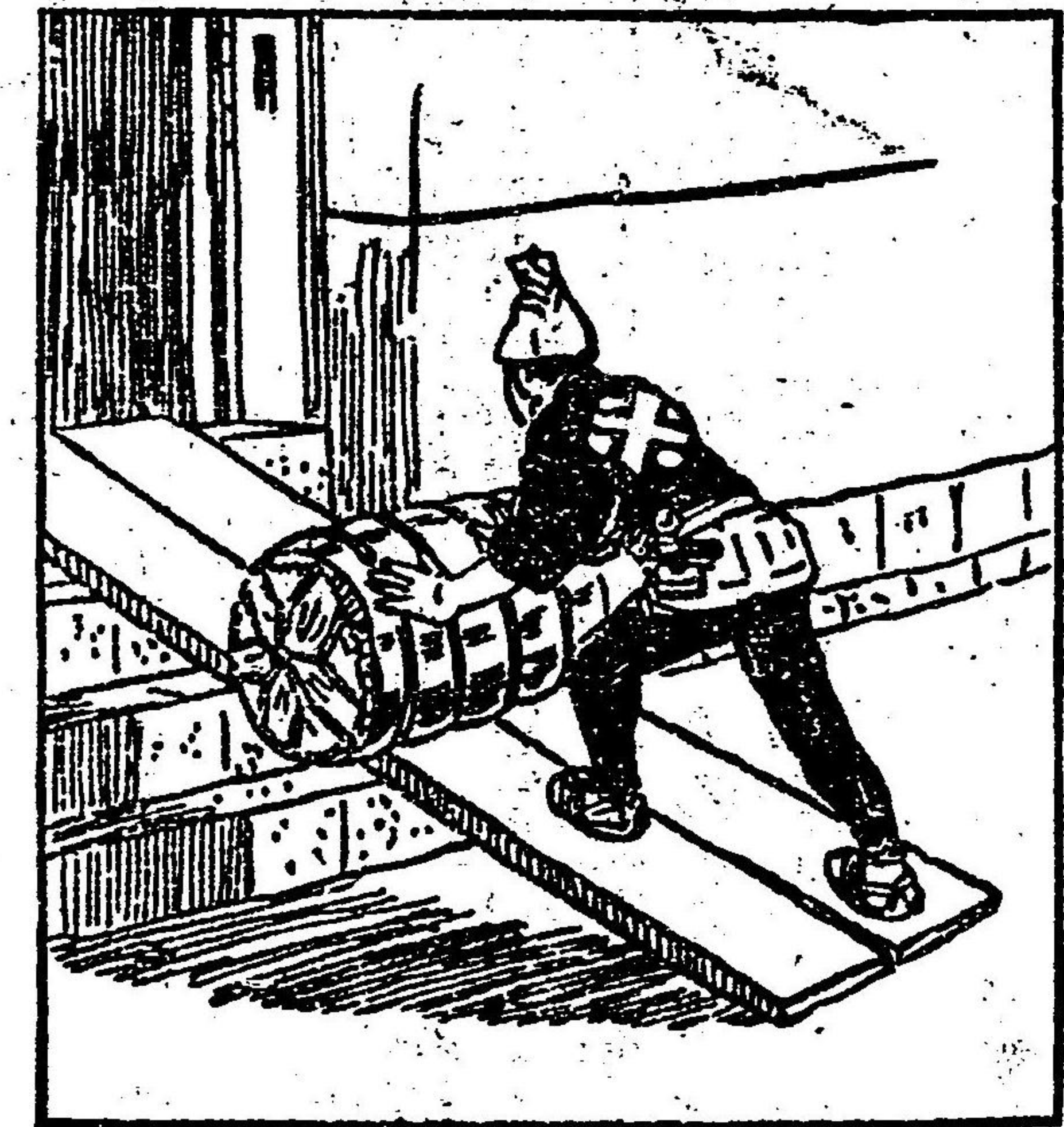
### 四十三 斜面・螺旋

斜面しゃめん 螺旋らせん 浴そうてツイ 先端せんたん せん

(二) 表 解。

(1) 斜面

- (イ) 用途 || 高い所に重い物を上ぐる爲に用ひられる。
- (ロ) 利益 || 斜面に沿うて物を上ぐるに要する力は物の重より小さい。
- (ハ) 長さちがひと高さ || 斜面の長さが高さたかに比して大きい程、小さい力ちがひでよい。



斜面の應用

(2) 螺旋 || 小なる力を働かして廻轉せしむれば其の先端に大きな力が出る。

(三) 附。 (1) 斜面では物體の重さと高さとの積が動かす力と長さとの積に等しい時に力が釣合ふ。斜面では力で益するが距離で損をする。

(四) 問題。 (1) 斜面は如何なる時に力を益することが大であるか。



### 四十四 器械と仕事

(一)字解。

器械きがい 量りょう 測はかる 増減ぞうげん マンダリハ

(1) 仕事しごとが物体に働くとき、其の働く點が力の方向に動けば、力は仕事をするといふ。

(2) 仕事の量りょうは力と其の働く點の動く距離との積で測る。

(3) 器械と仕事の量りょうは槌つち・手て・輪軸りんじく・滑車くわ・斜面しゃめん・螺旋等らせんを用ふれば、小さい力を働かして大きな力と同じ働きをする事が出来るけれども、小なる力と其の働く點の動く距離との積は、大きい力と其の働く點の動く距離との積に等しいから、器械は仕事の量を増減するものでない。

(三)附。 (1) 器械を用ひて力が四分の一になるときは、働く點の動く距離は四倍になるのである。

(四)問。 (1) 仕事の量は如何して測るか。 (2) 器械と仕事の量との關係如何。

### 四十五 摩擦

(一)字解。

摩擦ま 觸ふれす 滑すべり 妨さまたぐる 作用さよう マンダリハ 摩擦ま 合あふ

(1) 運動と摩擦まの物体が他の物体に觸れて運動するときには、其の觸合あふ所に運動を妨さまたぐる力を生ずる之を摩擦まといふ。

(2) 摩擦を防ぐことまは器械はこれを用ふるとき、其の摩擦合あふところに摩擦が生じて、其の作用が妨さまたげられるから、油を注ぎて摩擦を少くする。

(三)問。 (1) 運動と摩擦との關係如何。 (2) 摩擦を減ずるにはどうするか。

理

科

(家事)

第一學年  
後學期

第七 食品の鑑別

(一) 表解。

食品の鑑別

- (1) 鑑別の必要 食品は成分がまざつてゐるものでも品質不良であれば味あしく、滋養の効少く、又健康を害するおそれがあるから、その品質の良否を鑑別することが必要である。
- (2) 鑑別法
- (イ) 獸肉 肉質かたく弾力あり、其の色普通で光澤ある脂肪を有するのは良い。
  - (ロ) 鳥類 肛門よくしまり羽毛容易にぬけないのは良く、眼球水氣をふび、羽毛のぬけやすく肛門暗褐色なるは不良。
  - (ハ) 魚類 鰓の色鮮紅、肉かたく、鱗片たやすくはなれぬのは良く、切身は異臭なく弾力あるものがよい。

(ニ) 野菜 葉緑て萎れないのがよい、外皮こはばれるは不良。  
 (ホ) 菌類 毒あるものは多く悪臭あり切り口に濃い汁が出て、色特に美麗て辛味あり、又切口が變色する。

- (二) 字 解。 鑑別 品質 良否 弾力 光澤 脂肪 異様 厭ふべ  
 (三) 問 題。 臭氣 暗褐色 鰓 鮮紅 鱗片 萎れ 濃い
- (1) 鳥類の鑑別法如何。  
 (2) 如何なる菌が有毒なるか。

第八 食物の貯藏

(一) 表解。

食物の貯藏

- (1) 貯藏の必要 注意して貯藏しないと味を損じ腐敗をまねく。  
 (イ) 乾燥貯藏法 乾物類・魚煎餅・鯉節・海苔等は之に依る。  
 (ロ) 寒冷貯藏法 冷蔵函・氷室・水中等に置くのである。  
 (ハ) 熱貯藏法 煮たり焼いたりするのである。

理 科(家事) 第一學年後學期

- (二) 字 解。 (一) 食鹽貯藏法 || 鹽漬・味噌漬・醬油漬等。
- (三) 問 題。 貯藏瓶 (二) 腐敗 (三) 黴菌 (四) 繁殖 (五) 乾燥 (六) 冷蔵 (七) 罐詰 (八) 杜絶
- (一) 貯藏の必要を説け。 (2) 各種の貯藏法と其の例を挙げよ。

### 第九 飲料水

#### (一) 表 解。

- (1) 飲料水と衛生 || 水は生活上必要で、其の良否は衛生に大に關係す。
- (2) 飲料水の種類 || 井水 || 無色透明・臭氣なく爽快の味あるのがよい。
- (3) 水の濾過法 || 水道水 || 最も飲料に適してゐる。
- (3) 水の濾過法 || 水道以外の水は、概ね有機物・無機物及び塵埃を混じてゐるから、濾して用ふるがよい。

#### (二) 字 解。

飲料水 (いんりょうすい) 衛生 (せいせい) 關係 (くわんけい) 透明 (とうめい) 臭氣 (しゅうき) 爽快 (さうくわい) 濾過 (ろくわ) 有 (あ) 機物 (きぶつ) 塵埃 (ちんあい) 無機物 (むきぶつ) 塵埃 (ちんあい)

#### (三) 問 題。

(1) 飲料水の種類を問ふ。(2) 塵埃の混れる飲料水はどうして用ふるか。

### 第十 飲料

#### (一) 表 解。

- (1) 酒 || 清酒・麥酒・葡萄酒あり。いづれもアルコール分を含むから、過量に用ふれば健康を害し、精神をみだす。
- (2) 牛乳 || 滋養をとる爲に用ふ。煮沸して用ふるがよい。
- (3) 茶 || 緑茶・紅茶等あり、茶素とタンニンを含む、適度に用ふれば、精神をさわやかにするけれども、度をすぎせば眠られぬことがある。
- (4) コーヒー || コーヒー樹の種子から製し、成分・利害略、茶に同じ。
- (5) ナイダー・ラムネ || 糖分ある水に炭酸瓦斯を充し、少量の酸類等を加味したもので、適度なれば精神を爽かにすれど、量を過せば害がある。

(二) 解。

麥酒 葡萄酒 過量 健康 精神 滋養 煮沸し 適

(三) 問。

(1) 飲料の名を挙げよ。(2) 酒の成分及び利害を問ふ。

第十一 食器及び庖厨具

(一) 表 解。

食器及  
庖厨具

- (1) 食器—飲食に用ふる器具で、膳・碗・茶碗・皿・鉢・箸の類。
  - (2) 庖厨具—煮食に用ふる器具で、鍋・釜・俎・庖刀等。
  - (3) 器具の類—品質により陶磁器・硝子器・木器・金屬器等に區別する。
- 陶磁器—使用前に一度煮沸すれば破損し難い。  
硝子器—陶磁器の如く煮沸して用ふるがよい。  
木器—漆で塗つたものは、剝げ易く、さすがつさやすい。又

(4) 取扱

木器は一度用ひた後は水か微温湯であらひ、やはらかな布で水分をぬぐひとつて保存するがよい。

鐵器—錆びやすいから、水分をよく拭ひ去れ。  
銅器・青銅器・黄銅器—有毒な緑青を生じ易いから、食物は直らに取り出すがよい。

金屬器—アルミニウム—鹽分と酸類によわい。

(二) 解。

庖厨具 膳・碗・茶碗・鉢・銅・釜・俎・庖刀 類別 陶磁器

(三) 問。

(1) 食器とは如何なるものか。(2) 食器・庖厨具各類の利害を問ふ。

第十二 燃料

(一) 表 解。

(1) 薪—樫・檜等の堅木は火力強く、松・雜木は煙多く火力弱い。

燃料

(1)種類

(ろ)木炭||堅炭・櫻炭・土竈炭等の種類がある。  
(は)石炭||褐炭(價安く火力弱い)黒炭(臭氣多い)無煙炭(煙少く火力強い。けれども價が高い)。  
(に)骸炭||石炭から瓦斯を取去つたもので價安く火力強い。

(2)燃料の選擇

燃料の選擇||燃料は發熱多く煙少く、長さに堪ふるのを選ぶを要す。

(3)燃焼上の注意

燃焼上の注意||使用するには煙の發せぬ様にし、熱の放射面を大にして煮たさの目的に適せしめねばならぬ。

(二)解。熱放射面。放射面。

(1)燃料の種類と各の用途を問ふ。(2)燃料選擇上の注意如何。

第四章 住居に關する事柄

第一 住居の選定と設備

(一)表解。

住居の選定と設備

(1)選定

衛生上の注意||高燥で、排水行はれ、空氣の流通、日光の射よく、沼・池・墓地・工場等近所になさを要す。  
(は)教育上の注意||學校に近く、下賤・卑猥の場所なさを要す。  
(に)實用上の注意||業務を取るに便利で火災・地震のおそれ少く、かつ買物に都合よき所がよい。

(2)設備||適當な廣さの宅地と家屋は云ふまでもなく、四周の防備飲料水の供給等必要なる設備を要する。

(二)字

解。家賃。

選定。設備。高燥。排水。沼。經濟上。生活費。下賤。卑猥。業務。地震。防備。

(三)問

題。

(1)住居の選定に就いては如何なる點に注意すべきか。

### 第二 家宅の種類と設計

(一) 表解。

家宅の種類と設計

(1) 家宅の種類  
 (イ) 構造 || 日本風と西洋風。  
 (ロ) 材料 || 木造・石造・煉瓦造・土藏造。  
 (ハ) 建方 || 平屋建・二階建・三階建。

(2) 家宅の設計 || 採光・換氣をよくする爲に方向を東南或は南向にするを要す。其の他實用上立關・居間・寢間・臺所・便所・押入・廊下・縁側等の各室を備へ、身分により客室・應接所・食堂・化粧部屋・女中部屋其の他庫・物置・湯殿等を備へるがよい。けれども虚飾に流れては

(二) 字解。

煉瓦造 採光 換氣 立關 寢間 縁側 應接所  
 化粧部屋 スペース 倉庫 湯殿 虚飾

(三) 問題。 (1) 家宅の種類を問ふ。 (2) 家宅の各室の名を擧げよ。

### 第三 家宅の整理

(一) 表解。

家宅の整理

(1) 整理の必要 || 家宅を構へたときは、之が裝飾・掃除・取締等に關して注意しなければならぬ。これは生命・財産の安全をはかり、一家團樂の樂み等を得るに必要なることである。

(2) 整理の方法  
 (イ) 裝飾 || 裝飾は愉快な生活をなすに必要である。故に贅澤に失せざる限り裝飾をするがよい。  
 (ロ) 掃除 || 衛生上家、宅の保存上必要で、又裝飾にも關する。  
 (ハ) 取締 || 四周の防備・戸締・火の用心に十分注意せよ。

整理の構へ 裝飾 掃除 取締 團樂 贅澤

(三) 問題。 (1) 家宅整理の必要を説け。 (2) 掃除によりて得る利益如何。

### 第四 家宅の修繕

(一) 表解。

家宅の修繕

- (1) 修繕の必要—修繕は家宅の損傷を復舊し、美觀を保つに必要である。
- (2) 修繕上の注意—大破に至らぬ内にすれば時間と費用に利益がある。

(二) 字解。

修繕シラセム 損傷ソムレタ 復舊フクキョウ 美觀ミクワン 費用ヒヨウ 利益リキ

(三) 問題。

(1) 家宅修繕上の注意を、例をあげて説明せよ。

### 第五 住居の家具・什器

(一) 表解。

住居と家具什

- (1) 住居の家具・什器との關係—朝夕の料理はもろろん修繕・掃除・諸器具の整頓等は、皆家具・什器をととのへておくこと否とに關するから、日常生活に支障のないやうにしておくはならぬ。

器

(2) 家具・什器備附上の心得—家具・什器はその種類甚だ多いけれども、身分職業にともなひて適當に備へ、その保存・整理に注意を要する。

(二) 字解。

什器ジキ 日常用品ニチジョウヨウヒ 備附ビブツ

(三) 問題。

- (1) 住居の家具・什器との關係如何。
- (2) 家具・什器の名を問ふ。



理科(家事) 第一學年後學期

三〇

自習最新各科表解(高一後期)終

明治四拾五年六月廿六日印刷  
明治四拾五年六月三十日發行

(高等科後期用)  
定價各金拾貳錢

誠文館編輯所 編纂

發行者 田 沼 秀 夫

印刷者 飯 田 三 千 太 郎

東京市神田區南  
乘物町七番地  
東京市牛込區市谷加  
賀町一丁目十二番地

發賣元

東京市神田區南乘物町  
大阪市東區備後町四丁目  
神戸市元町五丁目  
京都市二條通川原町

誠寶寶寶

文文文文

館館館館

校學女等高・校學中  
書用驗受學入

▲本書は今回新に發行した本で、入學の心得、入學に必要なる國語（読み方・解き方・書き取・綴り方）及び算術の二科を編修することの出来るやうに作られてある。

寶文館編輯所編纂（自習用）  
中學・高等女學校最新入學準備要書

（明治三十五年八月新刊）

●定價金四拾錢 送料金六錢●

▲本書は是迄の本とは違つて必要なる試験問題を掲げて、之に一々解釋や、答をつけてあるから、此の本を一通り讀めば入學試験には能度入學が出来ます。

館文寶 町石本橋本日京東 町後備區東阪大 所行發

校學女等高・校學中  
書用驗受學入

▲本書は昨年發行以來、大そつ評判がよくて、もはや参萬冊も賣れました。  
▲中に書いてある國語や算術の練習問題と試験問題とは皆改正の國定教科書によつたのであります。

寶文館編輯所編纂（訂正二十版）

中學・高等女學校新定入學受驗準備書

洋裝全一冊 定價金四拾錢 送料金六錢

▲本書は入學しようとする人たちのためには非常に便利な本で、獨習することが出来ます。  
▲本書には又入學受驗の時のくはしい心得が書いてあります。

館文寶 町石本橋本日京東 町後備區東阪大 所行發

書用童兒の的想理

誠文館編輯所編纂 (大好評)

新定理科圖要解

●袖珍ポケット形美本●密書數拾個挿入

▲理科はなるべく實物を觀察して研究すべき性質の學問である。又さうせなければ確實な理科の智識はつかないのである。然し實物といつても一から十まで集めるといふことは經費其他の點からとても一個人で出来ることとてない。そこで本科の研究は圖によることが一番得策である。▲本書は其挿畫を一々確な據りどころのあるものから採り兒童の程度迄よく考へて適當なる説明を加へてある。そして其題目は文部省で出来た兒童書によりて編纂したのであるから家庭に於て理科の復習練習をするのに非常に助けになるものである。

尋常第五學年用  
尋常第六學年用

定價各金拾貳錢  
郵稅各金貳錢

誠文館發行所 東京 神田 區 南 橋 本 六 丁 目 九 番 九 號

書用童兒の的想理

誠文館編輯所編纂 (大好評)

國定標準算術科便覽

尋常小學校用  
定價各金拾錢  
郵稅各金貳錢

▲小學校の諸教科中教ふる者、並に教へらるる者の共に困難を感ずるは、算術科に過ぐるものはあらざるべし。されば本書は兒童が算術科を學習するに必要な理論を平易簡明に述べ、其の應用を自在ならしめんことを目的として多年教授上の實際に鑑みて編纂せるものなり。▲本書載するところの理論は本科研究上の基本となるべきもののみを集めて、見易き様に一々各題目の下に集められたれば、算術科學習者は、これにより學習上非常の便益を得べし。

誠文館發行所 東京 神田 區 南 橋 本 六 丁 目 九 番 九 號

入學受驗用書

長崎縣立高等女學校教諭 後藤靜香著

四週間  
完結

中學校 高等女學校 算術入學準備書

全一冊 定價金參拾錢 送料金六錢

實文館編輯所編輯

中學校 高等女學校 入學受驗算術問題及解説

全二冊 定價金參拾錢 送料金四錢

右の兩書は何れも、皆さんが、中學校や高等女學校や實業學校に入學なさる時の算術問題を解説してあります。此書に依つて都合よく合格した人は澤山あります。其の禮状も亦澤山來てゐます。早く買つて御覽なさい。

六

發行所 東京 大坂 本備 石後 町

自習に最も好い本

自習法研究会編

尋常 小學 自習 辭典

全一冊 定價金參拾錢 送料金八錢

●新國定教科書全部にわたつて、のこらずの言葉を集めた自習用の辭典です。そうして、劃引の部と、字音引の部とにわけてあるよい本です。  
●此の本さへあれば、修身でも、讀本でも、地理でも、歴史でも、理科でも、皆の本が讀めもし、又わけもわかるやうに出來てゐる字引です。

尋常 小學 地理 練習帳

五、六年 用二冊 定價各金拾錢 送料各金四錢

右は地理を練習するために用ふるものにして、筆記すべき部分と鮮明なる地圖とを加へたるよい書である。

七

發行所 東京 大坂 本備 石後 町

文學士 吉岡郷甫 共作 (文部省通俗教育委員會認定)  
塚本小治郎

### 勅語 菊の下水

全一冊 金參拾五錢  
送料 金六錢

●此の書は教育勅語に基づいた、皆さんのためになる面白い話  
が澤山のせてあります。讀んで御覽なさい。面白くて爲になる  
のは此の本です。

實文館編輯所編纂

### 國定 國語學習帳

全六冊各學年二冊づゝ  
四年八錢五・六年九錢づゝ

此の本は讀本と綴り方との練習をするのによい本です。早く御買  
ひなさい。よい本です。

巖谷小波先生 沼田笠峰先生共編

### 最新 日本少女寶典

三六版美本全一冊  
定價 金壹圓五拾錢  
送料 金拾貳錢

此の書は少女が日常心がくべき事を始として、各種の學科、技藝、娯  
樂、其の他少女に關するあらゆる事項が收めてありますから。學校に  
ある方と、家庭にある方とを問はず、少女の座右に一日もなくてはな  
らぬ寶典であります。文章は解り易く、二先生が口づから話すやうな  
書き振りで、趣味多く又製本の體裁も非常に高尚優美ですから、お嬢  
さん方の書齋や机上の裝飾品としても眞に立派な本であります。

發行所

東京市神田區南乗物町  
振替口座東京六九九番

誠文館

發行所 東京 大阪 本館 石後 町

沼田笠峰先生序 溝口白羊先生編

# 少女模範文集

四六版美本全壹冊  
定價金四拾錢  
郵税金四錢

少女世界、少女之友、少女、少女界等の作文欄を通じて誌上の花と唱はる、少才媛約二百名の作を選んだものです。どの文にも皆、華やかな少女の香ひと、若き心の誇りが充滿ちてゐます最も新しい、最も美しい作文のお手本としてこの本よりよいものは外にありません。文章が上手にならうと思ふ人は、一日も早く此本を御覧下さい。

發兌元

東京市神田區南乗物町  
振替口座東京六九九番

誠文館

東京高等師範學校訓導 盧田惠之助著

## 尋等綴り方教科書

全四冊、三年八錢、  
四年拾錢、送料各四錢

## 高等綴り方教科書

全二冊、一年・二年  
定價各金拾五錢  
送料各金四錢

- 此の書は盧田先生が、皆さんの綴り方の上手になる様にと大層力をこめて御つくりになつた本です。
- 此の書は大そう評判がよくて最早や二十萬冊も買れました。早く買つて、文を上手に作るやうになりなさい。
- 此の書の中には、文を作る法、手本となる文などが面白くかゝれてあるから、一度讀むと文が上手になります。

發行所 東京大 京阪 本備 石後 町 寶文館

2Y-93

# 日本歴史用附圖

▲本書は尋常科第五・六學年で、日本歴史を習ふときにつかふ  
附圖であつて、彩色をした爲になる色々の繪や圖が澤山は  
いつて居ります。

實文館編輯所編纂

## 尋常小學 日本歴史附圖

●五・六學年用各一冊●

實價各金拾參錢  
送料各金貳錢

▲本書は賣出してから、日も淺う御座いますが、非常な評判  
で大もうよく賣れます。此の本をつかつて復習などなさる  
ならば能く解ります。

三

發行所 東京大坂 日本橋區 本町後 實文館

